

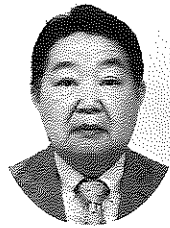
新退教通信

No.196

2025. 7. 1

 新潟県退職
 教職員連絡協議会
 ☎Fax 025-281-8146

「ウクライナの子どもたち」



新退教会長

大坂 和夫

今年は、戦後80年を迎えました。私たち新退教は、新教組、日退教組会員として戦前の教育の反省から「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを採択し、平和と民主教育を守ってきました。

今、朝ドラで「あんぱん」が放映されています。ドラマの中で、戦前の女子師範学校の教育や学校教育による子どもへの影響の大きさを垣間見ることができ、二度とあのような時代に戻してはいけなく強く思いました。また、ロシアのプーチン大統領によるウクライナへの武力侵攻は4年目を迎え、トランプ米大統領が、仲介しての両国の和平交渉は、まだまだ停戦にも程遠い状況です。過日のNHKのドキュメント番組で、占領下のウクラ

イナについて放映されていました。占領地では、ロシア国内各地から多くの移住者を募って支配の既成事実化を図り、「ロシア化」が進んでいます。注目したい衝撃的なことは、ロシア軍の侵攻に伴ってウクライナから多くの子どもたちをロシアに連れ去りました。連れ去られた子どもたちがいる施設では、ウクライナの言語は禁止されロシア語を強制されています。また、毎朝ロシア国家を歌わされたり、歴史教育もロシア史観の内容で教えたりしています。特に、ロシアの軍事侵攻を正当化した教育では、第二次世界大戦でロシア（旧ソ連）が対ナチスとの戦いでウクライナ民衆を解放したとプロパガンダ的な教育です。正に、母国の文化・歴史を否定し、独立国家としての尊厳さえも奪う教育です。多くの子どもたちは、里親に引き取られ、ウクライナへの敵がい心を抱いたロシア国民として、大人になったら労働力や軍隊へと、そこにはロシアの国家的な戦略があります。

教育が果たす責任の重さを痛感しました。

私たちは、教育に携わったものとして民主教育の発展に努めなければなりません。再び戦火の渦に巻き込まれることなく、子どもたちの未来を守っていくためにも、平和を求める声をあげなければなりません。

平和な社会の実現、今の生活を安心して豊かに過ごしたいというやさやかな願いを実現させるためにも、今夏の参議院選挙は大切な機会です。私たちは、新教組が推薦する候補当選のため現退一致して取り組みましょう。



絵画「夏の日思いで」
小林 裕史さん（三南支部）

目次

(敬称略)

8p	みんなの広場 (今井真吾、他1名)
7p	新教組です 本部副執行委員長 西脇 直美
6p	支部からのたより 長岡支部 西山 宗彦 北新支部 森 弘志 南魚支部 庭野美奈子
3p	退任と新任 新副会長 猪狩 豊子 新副会長 堀江 康之
2p	退任と新任 前副会長 小幡 晴美 前副会長 米山 忠彦
1p	巻頭言 会長 大坂 和夫

第53回新退教定期総会

「教え子を再び戦場に送るな」

戦後80年の節目の年の誓い

5月23日（金）新教組会館3階で代議員31名で開催することができました。

議長に長岡支部の飯田満さんを指名し、報告事項、規約改正、役員選出、活動方針など原案通りに承認されました。

【「来賓」】



新教組	委員長	今井 淳 様
県退職者連合	会 長	山田 太郎 様
退女教	会 長	遠山 栄子 様
高校退職者の会	会 長	木村 昭雄 様
教職員共済	所 長	松田 洋平 様
教職員厚生財団	理事長	猪股 博英 様
新学協	常務理事	渋谷 一男 様
県労働金庫	理事長	山崎 昌彦 様

【役員選出】

役員選考委員長の小池洋さん（上越支部）から役員選考の経緯が話され、その後25年度の本部役員が提案され、その後、顧問、県幹事が委嘱された。

【会計報告】

24年度の決算が報告され、会計監査から監査報告があった。

【活動方針の重点】

毎年百名程度の会員減少がある。このままでは、16年後に会員が0人になる。20年後の戦後百年に組織が存続するための手立てを策定するため、組織強化を図る必要がある。

① 本部支部ともに連携し、組織の充実を図る。

a 組織を見直し、新退教の活性化を図る。

b 新退教通信と支部だよりが連携し、活動が見える工夫をする。

c 「学びの集い」を研修・親睦・交流の視点から一層の工夫を図る。

d 現退一致で教職員現場と連携し、署名活動に取り組む。

② 65才定年への段階的な定年延長に対応するため、取組を工夫する。

a 24年度末の退職者の加入促進分析の情報交換を行う。

b 「退職者のためのライフプランセミナー」等の輪を広げる。

【事業計画】

加入促進支部事務局長会議を6月18日に開催し、情報交換を行う。10月15日「学びの集い」に、年金等講演会と秋のバスコンサートを開催する。

【事業計画】

25年度の予算を立てた。オンライン会議などのPC体制を整える。

ありがとうございました



旧副会長

小 幡 晴 美

8年間、お世話になりました。任期中に新型コロナウイルス禍そして新退教50周年行事もあり振り返ると本当にいろいろなことがあったと思います。魚沼⇄新潟間はなかなか遠かったです。楽しかったのは、行事が終わってからの新教組会館の5階での懇親交流会でした。今後は、現退がともに連携できるように、地元北魚の地から応援します。本当にありがとうございました。

一人ひとりの「よし」



旧副会長

米 山 忠 彦

「現在は入会してもらっていることを、喜ばなくてはならない時代」、「新退教は社会の風を入れる窓」と考え、長年にわたり、本部役員の仕事を務めさせていただきました。活動、それは楽しく、心に残るものでした。新退教の良さは、「現職時代のしがらみのない会であること」です。本部でも、訪問した支部でも、そして、北陸ブロックや全国の日退教でも、多くの仲間と出会い、気軽に、視野の広がる情報交換ができました。ある支部の支部長さんの「組合専従経験者でない私が支部長だからいいのです。」という言葉が心に残っています。開かれていく組織であること、一人ひとりの「よし」が大きな力になる取組を、仲間と新教組の後輩と共に展開していただきたいと思います。

退任のあいさつ

よろしく願います

支部からのたより

生活にうるおいと充実を！

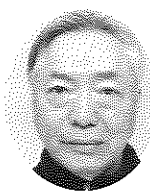


長岡支部 事業部長
西山 宗彦

長岡支部では、会員相互の親睦、交流の機会として、「健康づくりを学ぶ会」「革細工を楽しむ会」「日帰りバス旅行」「親善囲碁大会」「ボウリング大会」「確定申告書作成相談会」の6事業を実施しています。昨年度は、延べ112名の会員が参加しました。

「無理なく運動し、自分の健康の基礎

新発田の一大事



北新支部 支部長
森 弘志

四月十二日・十三日に新発田市五十公野公園で、ももいろクローバーZのライブが、『ももクロ春の一大事・新発田新発見』と銘打って行われた。全国各地からモノノフ（ももクロファンの総称）がピンク色の臨時特急列車などで新発田市に集結し、開催日前から聖地巡礼と称し

データが知れた。」「素敵な革のペンダントを完成させることができた。」「見て、聞いて、学んで、感じ、そして美味しいものが食べられた。」「美しい碁を目指してさすことができた。」「一投一投に一喜一憂しながらいい汗がかけた。」「スムーズに申告書ができてありがたかった。」「など、肯定的な感想を多数いただきました。

今年度も創意を結集し、魅力ある企画・運営に努めていきたいと考えています。

て、新発田の街中にあふれた。メンバーが事前訪問した和菓子屋や惣菜店、焼き肉店、佐々木駅などが大賑わいとなった。コラボ商品や関連グッズを枯らす（完売させるの意味）ことがモノノフの醍醐味となっているらしい。残念ながら二日目は強風のため中止となってしまったが、特段のクレームもなく、新発田市内で買い物や観光を楽しんでいた。毎年一回、各地を回り地域活性化に協力する取組は、大きな経済効果を生み出している。さて、新発田の金額はいかに。

私の健康法



南魚支部
庭野 美奈子

ドックの数値が気になり、退職後ウォーキングを始めた。数年頑張ったものの、数値も体重も変化なし。「これはきっと老化が効果を追い越しているに違いない。」などと思い始めた頃、ユーチューブで目にしたウォーキングのメリット。最初に期待していた生活習慣病予防に留まらず、日光を浴びて歩くことで「免疫力や睡眠の質の向上」「認知症のリスク低減」に役立つばかりか「幸せホルモン」と呼ばれるものまで分泌されるらしい。

二十年後、いや三十年後まで自分の足で歩き、それなりに健康で過ごせるように、また何よりいくつになっても、小さくてもいいので幸せを感じながら生活していくために、これからもせっせとウォーキングに励もうと思っている。



まずは、一人一人が選挙に行き、投票する「公民権」を行使し、その次に、私たちの要求実現を訴える人に投票する。この流れの大切さを新任教も大切にし、訴えていく必要があります。

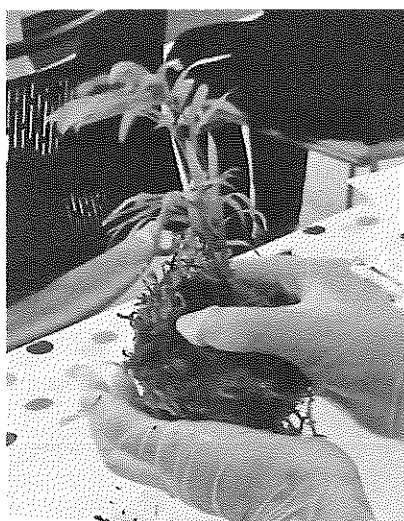
みんなの広場

「芝」から「苔」そして「苔玉」②

新潟市の背比べ

「芝生」に愛着をもち、月2回程度の芝刈りを楽しんでいたので、しかし、芝は定期的に一定の圧がないと、その芝生に「苔」が生え始め、あつという間に、苔が全体にはびこり始めました。

その忌々しい苔を、なんと妻が嬉しそうに眺めていました。妻は、そのころから「苔玉」を作り始めていました。いろいろな苗に苔を巻いて、「苔玉」を作り、友人に配っていました。閑散とした部屋に「苔玉」を飾ると、一挙に心休まる空間となりました。写真は「テーブルヤシ」の苔玉を作っている様子です。「苔玉」を作りたい方は、新退教事務局にお問い合わせください。



我が人生バイクとともに

今井 真吾 ⑥

能登半島地震から半年後、珠洲市出身のバイク仲間から「能登半島でおふみをして復興を示したい」という話を受け、私は一泊で金沢に出かけることにした。

当日は、北は新潟、南は愛知まで20台以上が参加した。行政の後援で、道の駅に駐車スペースの確保や、イベントの利用券の提供などの支援を受けた。少しでもお金を使うことで能登の復興にほんの少し貢献できたらと考えた。



事務局より

2025年の次号より、「俳句」コーナーを開催します。俳句愛好家が増え、新退教通信にも載せられたいと要望が寄せられました。現在、「俳句の会」においては、「俳句」が行われています。第1回目は、三南支部にスポットを当てて、連載していきたいと思ひます。



〈広告〉

教職員共済組合員のための

マイページができました!

教職員共済 マイページ

検索

<https://www.kyousyokuin.or.jp/kumiai.html>



LINE 公式アカウントもできました!



お友だち登録はこちらから



イメージキャラクター
「あむりん」

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合

〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1 ラポール日教済